

計算書類に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法について

投資有価証券……………総平均法による原価基準を採用している。

(2) 固定資産の減価償却について

什 器 備 品……………定率法による減価償却を実施している。

(3) 資金の範囲について

資金の範囲には、現金預金、未収入金、未払金、前払費用、未払費用、前払金、前受金、仮払金、仮受金、立替金、及び預り金を含めている。

なお、前期末及び当期末残高は下記3に記載するとおりである。

2. 基本財産の増減及びその残高は、次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
投資有価証券	51,000,000	0	0	51,000,000
合 計 (基本金)	51,000,000	0	0	51,000,000

3. 次期繰越収支差額の内容は、次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期末残高
現 金 預 金	10,889,059	16,091,418
未 収 入 金	4,915,800	4,859,119
前 払 費 用	458,850	458,850
立 替 金	0	0
合 計 (1)	16,263,709	21,409,387
未 払 金	2,965,017	2,620,545
前 受 金	7,648,000	10,852,000
預 り 金	130,473	136,862
仮 受 金	287,050	0
合 計 (2)	11,030,540	13,609,407
(1) - (2) 次期繰越収支差額	5,233,169	7,799,980

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取 得 価 額	減 価 償 却 累 計 額	当 期 末 残 高
什 器 備 品			
キャビネット	150,000	142,500	7,500
テレビ	103,500	98,325	5,175
本 棚	245,400	233,130	12,270
タイルカーペット	336,000	8,932	327,068
パーテーション	357,000	15,946	341,054
プロジェクター	177,000	27,213	149,787
合 計	1,368,900	526,046	842,854